

平成28年度第1回家裁委員会における委員意見を踏まえた取組状況  
について

首席部事務室

平成28年度第1回家裁委員会では、「少年の更生に向けた保護者への働き掛け」に関して、当庁で行われている様々な取組をご紹介した上で、委員から貴重なご意見を頂戴しました。これを踏まえて、当庁調査官室では次の3点について改善に向けた取組を行ってまいりました。

- 1 その第一は、「保護者の会」及び「家族の会」の参加者向け案内文書の改訂です。委員からは、参加への動機付けのために具体的にどのような集まりなのかを説明したり、感想文に現れた過去の参加者の感想を引用して少年の更生に効果があることをアピールしてはどうかというご意見や、書きぶりをもっとソフトなものにしてはどうかというご指摘を頂きました。

まず、書きぶりをソフトにするという点についてはお配りした【資料1】及び【資料2】のとおり、挿絵なども入れて体裁を優しい雰囲気のものにしました。どのような集まりなのかを説明する点や、過去の参加者の感想文を引用するなどして効果をアピールするという点については、案内文書のスペースの問題から記載できる量が限られていることや、細かく書き連ねると読み辛いと思われることなどから、これを保護者に配布する際の調査官の説明に委ねる方針をとりました。

なお、家族の会を原則参加にしているかどうかというご意見もいただいております。このことについては、第1回家裁委員会の後まもなくから、そのように説明を実施しております。その結果、本年4月に実施した家族の会に参加した保護者は13人であったのに対して、7月実施分には21人の、9月実施分には17人の参加を得ています。

- 2 次にご意見を頂いていたのは、他機関の紹介です。各機関ごとに保護者の支援がぶつ切りにならないよう、他の支援相談機関を紹介することで継続性を持たせる必要があるというご指摘を頂戴しておりました。これについては、ホームペ

ージで公開されている各相談機関の情報を基に公的相談機関一覧を作成し、ラミネート加工したものを保護者の会の会場の机の上に置くようにしました。一律配布にしなかったのは、家庭裁判所がこれらの相談機関だけを斡旋しているかのような誤解を招かないよう配慮するためです。

- 3 3点目は、グループ討議を繰り返し経験することで、働き掛けの効果が増すと思われるので、家族の会などへ複数回参加ができるようにしてはどうかというご意見でした。これについては、最後に複数回の参加が可能であることを説明し、希望者は申し出ていただくよう促すことにしております。また、調査官へもこの旨は周知しており、家裁の判断により複数回参加させることが望ましいと思われた事案については、担当調査官からその旨を働き掛けることとしております。

以上、第1回の家裁委員会で頂いたご意見を基にその後に取り組んできた改善策をご報告いたします。今後とも、少年の更生に向けたより効果的な保護者への働き掛けについて工夫を重ねていきたいと思っております。ありがとうございました。

## 保護者の会について

大阪家庭裁判所

### 保護者の会の目的

保護者の皆さんが、お子さんの成長に重要な責任を負っておられることは言うまでもありません。

この会は、非行を犯したお子さんへの指導の在り方や、思春期・青年期を迎えたお子さんへの関わり方などについて学習し、これまでの子育てを振り返り、親子関係を見直す大切な機会となるものです。

非行を繰り返させないために、保護者としてどのように子どもと向き合うべきかを考え、今後の指導や関わりに生かしてください。

### プログラム

#### 1 ビデオ視聴

保護者としての責務や指導の在り方を考えるビデオを視聴します。

#### 2 グループ討議

ビデオの感想や今後の指導方針をグループで話し合います。

#### 3 感想文作成



## 家族の会について

大阪家庭裁判所



### 家族の会の目的

保護者の皆さんが、お子さんの成長に重要な責任を負っておられることは言うまでもありません。

この会は、試験観察中の少年の保護者を対象に、思春期・青年期を迎えたお子さんの特徴や、保護者として果たすべき役割などについて学習してもらうことを目的にしています。

お子さんに非行を繰り返させないために、保護者としてどのように子どもと向き合うべきかを考え、今後の指導や関わりに生かしてください。

### 日時・場所

平成 年 月 日（曜日） 午後 1 時 1 0 分受付

午後 1 時 2 0 分開始（時間厳守）

※ 終了予定時刻午後 4 時

大阪家庭裁判所 8 階 大会議室

### プログラム

1 調査官による講義

思春期・青年期を迎えたお子さんの特徴や非行をしてしまうメカニズム、保護者としての指導の在り方を学習する講義を行います。

2 グループ討議

講義の感想や今後の指導方針をグループで話し合います。

3 感想文作成